



平成 21 年 9 月 15 日

各 位

会 社 名 株式会社ノジマ
 代表者名 代表執行役社長 野島廣司
 (JASDAQ・コード 7419)
 問合せ先
 役職・氏名 代表執行役専務 三枝達実
 電 話 050 (3116) 1212 (代表)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成21年5月12日付当社「平成21年3月期決算短信」にて発表いたしました業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

1. 平成 22 年 3 月期 連結業績予想の修正等

(1) 第 2 四半期連結累計期間 (平成 21 年 4 月 1 日～平成 21 年 9 月 30 日)

(単位：百万円)

| | 売 上 高 | 営 業 利 益 | 経 常 利 益 | 四 半 期 純 利 益 | 1 株 当 たり 四 半 期 純 利 益 |
|---|--------|---------|---------|-------------|-------------------------|
| 前回予想 (A) | 70,000 | 200 | 1,100 | 650 | 33.41 |
| 今回修正 (B) | 75,000 | 800 | 1,700 | 1,400 | 71.97 |
| 増減額 (B - A) | 5,000 | 600 | 600 | 750 | — |
| 増 減 率 | 7.1% | 300.0% | 54.5% | 115.4% | — |
| (ご参考)前期第 2 四半期実績 (平成 21 年 3 月期第 2 四半期) | 68,044 | △196 | 883 | 361 | 18.21 |

(2) 修正理由

売上高につきましては、前期に引き続き薄型テレビを中心としたデジタルAV機器、白物家電の販売が好調に推移し、5月からのエコポイント実施以降は前年を大幅に上回る販売状況が続きました。また、携帯電話販売事業におきましても独自の施策が功奏し堅調に推移したことにより、当初計画より 5,000 百万円上回る予定であります。

利益につきましては、上記増収による収益の確保と、前期に引続きグループ全体での本部経費削減努力を継続したことにより、販売費及び一般管理費が当初計画どおりの推移となり、営業利益は当初計画より 600 百万円、経常利益は当初計画より 600 百万円上回る予定であります。

当期純利益につきましては、上記理由に加え、バンテック社との訴訟が和解による解決となり訴訟損失引当金の戻入(特別利益)が 375 百万円発生したことなどにより、当初計画より 750 百万円上回る予定であります。

(3) 通期 (平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日)

(単位: 百万円)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益 | 1株当たり 当期純利益 |
|------------------------------|---------|-------|-------|-------|----------------|
| 前回予想 (A) | 145,000 | 1,650 | 4,000 | 2,800 | 143.93 |
| 今回修正 (B) | 150,000 | 2,250 | 4,600 | 3,550 | 182.48 |
| 増減額 (B-A) | 5,000 | 600 | 600 | 750 | — |
| 増減率 | 3.4% | 36.4% | 15.0% | 26.8% | — |
| (ご参考) 前期実績 (平成 21 年 3 月期) | 138,880 | 1,578 | 3,717 | 2,624 | 131.91 |

(4) 修正理由

通期の連結業績予想につきましては、未だ本格的な消費回復には至っておらず今後の経済情勢は依然不透明でありますため、売上高・利益につきましては、上記記載の第 2 四半期累計期間の修正を勘案し、通期の連結業績予想の修正をいたします。

2. 平成 22 年 3 月期 個別業績予想の修正等

(1) 第 2 四半期累計期間 (平成 21 年 4 月 1 日～平成 21 年 9 月 30 日)

(単位: 百万円)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 四半期純利益 | 1株当たり 四半期純利益 |
|-----------|--------|------|--------|--------|-----------------|
| 前回予想 (A) | 45,000 | △600 | 500 | 300 | 15.42 |
| 今回修正 (B) | 52,000 | △200 | 1,600 | 1,600 | 82.25 |
| 増減額 (B-A) | 7,000 | 400 | 1,100 | 1,300 | — |
| 増減率 | 15.6% | — | 220.0% | 433.3% | — |

(2) 修正理由

売上高につきましては、上記連結業績に記載したとおり、前期に引き続き薄型テレビを中心としたデジタルAV機器、白物家電の販売が好調に推移し、5月からのエコポイント実施以降は前年を大幅に上回る販売状況が続いたことにより、当初計画より 7,000 百万円上回る予定であります。

利益につきましても、上記連結業績に記載したとおり、上記増収による収益の確保と、本部経費削減努力の継続により販売費及び一般管理費がおおむね計画どおり推移したため、営業利益は当初計画より 400 百万円上回る予定であります。

また、上記増収要因に加え、経常利益に関しましては、当社連結子会社であるソロン(株)の携帯電話事業が堅調に推移し財務基盤が安定してきたことにより、同社より 800 百万円の配当金を受領し、当初計画より 1,100 百万円上回る予定であります。

また、ハンテック社との訴訟が和解による解決となり訴訟損失引当金の戻入(特別利益)が 375 百万円発生したことなどにより、当期純利益は 1,300 百万円当初計画より上回る予定であります。

(3) 通期（平成21年4月1日～平成22年3月31日）

(単位:百万円)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益 | 1株当たり 当期純利益 |
|-------------------------|---------|------|-------|-------|----------------|
| 前回予想 (A) | 95,000 | △180 | 2,000 | 1,800 | 92.53 |
| 今回修正 (B) | 102,000 | 220 | 3,100 | 3,100 | 159.35 |
| 増減額 (B - A) | 7,000 | 400 | 1,100 | 1,300 | — |
| 増減率 | 7.4% | — | 55.0% | 72.2% | — |
| (ご参考)前期実績 (平成21年3月期) | 89,096 | △322 | 1,741 | 1,455 | 73.16 |

(4) 修正理由

通期の個別業績予想につきましては、上記連結業績予想同様、未だ本格的な消費回復には至っておらず今後の経済情勢は依然不透明でありますため、売上高・利益につきましては、上記記載の第2四半期累計期間の修正を勘案し、通期の個別業績予想の修正をいたします、

以 上